

日本育種学会 第105回講演会プログラム

2004年春 東京大学

大会本部 (Tel : 03-5841-8155 期間中のみ)

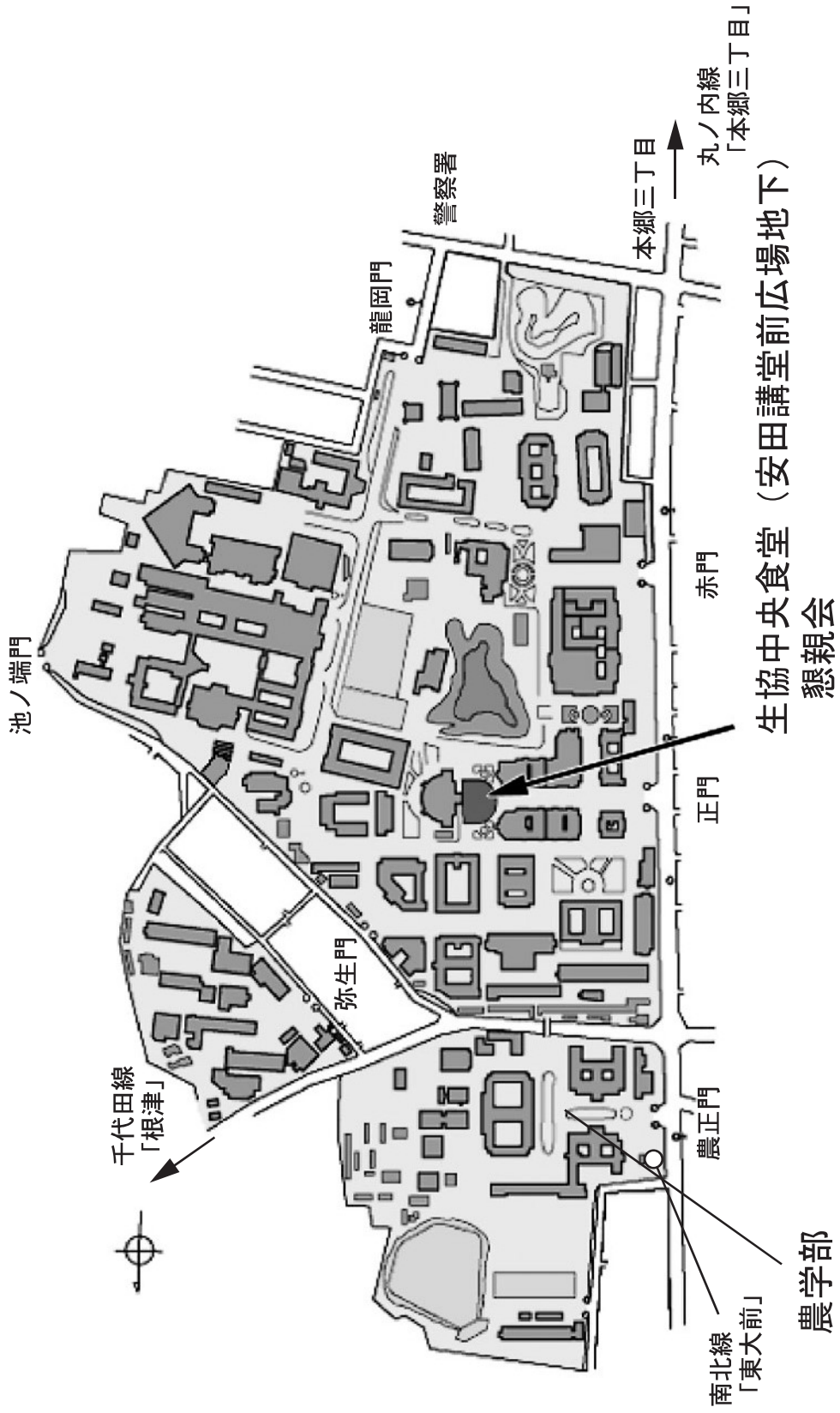
3月29日	午後	幹事会 (農学部3号館4階教官会議室) 14:00 - 18:00
-------	----	--------------------------------------

		第1会場 農学部弥生講堂 一条ホール	第2会場 農学部1号館 8番教室	第3会場 農学部2号館 化1番教室	第4会場 農学部2号館 化3番教室	第5会場 農学部1号館 4番教室	第6会場 農学部1号館 5番教室
3月30日	午前	遺伝子・蛋白質 101-120 9:00-13:00	遺伝子・蛋白質 ゲノム解析 201-220 9:00-13:00	発育生理 301-320 9:00-13:00	遺伝資源 系統分化 401-420 9:00-13:00	変異解析 501-520 9:00-13:00	抵抗性 品質成分 品種育成 601-620 9:00-13:00
	午後	総会・受賞講演 14:15~17:30 (弥生講堂・一条ホール)					
		懇親会 18:00~20:00 (生協中央食堂)					
3月31日	午前	遺伝子・蛋白質 121-135 9:00-12:00	育種情報 ゲノム解析 221-235 9:00-12:00	発育生理 321-*334 9:00-11:48	遺伝資源 系統分化 421-435 9:00-12:00	変異解析 変異創成 521-535 9:00-12:00	抵抗性 品質成分 品種育成 621-635 9:00-12:00
	午後	遺伝子・蛋白質 136-150 13:00-16:00	ゲノム解析 236-253 13:00-16:36	発育生理 増殖 *335-353 13:00-16:48	遺伝資源 系統分化 抵抗性 品質成分 436-452 13:00-16:24	変異解析 変異創成 536-554 13:00-16:48	品種育成 636-652 13:00-16:24
		グループ研究集会 17:00~19:00					

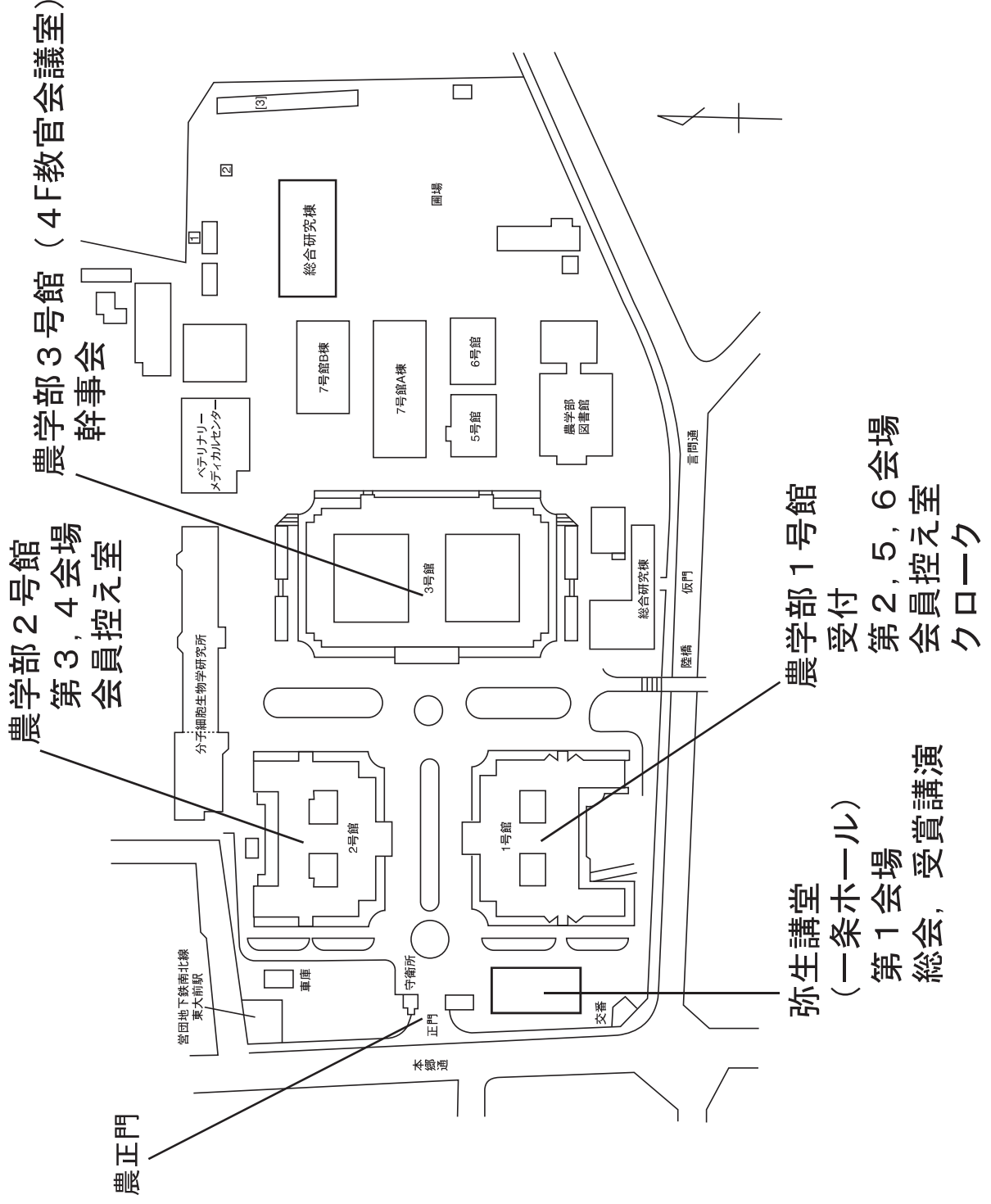
*第3会場、2日目午前のセッションは334まで、午後のセッションは335から始まることにご注意ください。

会場案内図

東大本郷キャンパス



農学部



3月29日 14:00 ↓ 18:00	幹事会（農学部3号館4階教官会議室）
------------------------------	--------------------

1日目（3月30日） 午前			
3月30日	第1会場	第2会場	第3会場
	◆座長 中村千春（神戸大農）	◆座長 犬飼義明（名大生物機能セ）	◆座長 奥野真敏（生物研）
9:00	101 Isoform Discovery of Genes Involved in Fatty Acid Synthesis in Coconut (<i>Cocos nucifera</i>) ○Laude, Rita P. and Cueno, Marni E. (UPLB)	201 <i>Tos17</i> の挿入に起因するイネ根突然変異体の解析 ○岩尾(虫鹿)純子1・湯尾崇央1・武田真1・宮尾安藝雄2・廣近洋彦2・一井眞比古1(1.香川大農, 2.生物研)	301 イネの交雑初期世代と戻し交雑後代における分離歪み程度の変化について 池永允伸・○小出陽平・西本大祐・松原一樹・佐野芳雄（北大院農）
9:12	102 セイヨウカラシナ(<i>Brassica juncea</i>)におけるカドミウム誘導性遺伝子の単離 ○吉川紗代1、秋廣高志2、藤村達人3 (1.筑波大学大学院バイオシステム研究科 2.筑波大学大学院農学研究科 3.筑波大学農林工学系)	202 イネ無胚乳変異体を用いた胚乳形成に関する遺伝子の単離 ○近藤博明1・山田仁美2・高原美規1・菊池尚志2・山元皓二1 (1.長岡技術科学大学・工、2・農業生物資源研究所)	302 栽培及び野生イネにおける半矮性遺伝子 <i>sd1</i> の分布とその遺伝子系譜 ○長野宏則・小笠原光洋・堀内優貴・大西一光・佐野芳雄（北大院農）
9:24	103 コムギのアントシアニン合成酵素(<i>ANS</i>)遺伝子の単離と発現解析 ○大坂卓也・水見英子・野田和彦(岡山大学資生研)	203 イネの花分裂組織を制御する <i>FLORAL ORGAN NUMBER1</i> 遺伝子の機能解析 ○寿崎拓哉1・三好正浩2・芦刈基之3・長戸康郎1・平野博之1 (1. 東大農学生命科学, 2. 日本たばこ, 3. 名大院生命農学)	303 準同質遺伝子系統を用いたイネ出穂性遺伝子間の相互作用の解析 ○松原一樹・紺谷学・佐々木敦司・佐野芳雄（北大院農学）
9:36	104 シイタケ, <i>Lentinula edodes</i> , のリグニン分解に関与するマンガンペルオキシダーゼの発現条件の検討 ○吉川琢也・種坂英次・吉田元信 (近畿大農)	204 イネ出穂抑制遺伝子 <i>Lhd4</i> のマップベースクローニング 北澤則之2・前原有美子1・益田悠1・野々上慈徳3・井澤毅4・門奈理佐2・美濃部佑三2・○矢野昌裕4 (1. 植物DNA機能研究所, 2. 植物ゲノムセンター, 3. 農林水産先端技術研究所, 4. 農業生物資源研究所)	304 イネ着色遺伝子A座候補遺伝子 <i>DFR</i> の塩基配列多型と複対立遺伝子の分化 ○齋藤久美・大西一光・長野宏則・佐野芳雄(北大院農)
9:48	105 チョウマメ青色花卉においてテルナチン生合成に関与する二つのアントシアニングルコシル基転移酵素遺伝子の単離と解析 ○野田尚信1・古川耕一郎1・数馬恒平1・加藤直幹1,2・鈴木正彦1 (1. 青森農林総研グリーンバイオセ, 2. 青森農林総研フラワーセ)	205 イネ感光性遺伝子 <i>Hd5</i> はCCAAT-box結合転写因子サブユニットをコードする ○山内歌子1・野々上慈徳2・芦刈基行3・林鴻宣4, 佐々木卓治1・矢野昌裕1 (1.農業生物資源研究所, 2. 農林水産先端技術研究所, 3.名大・生物機能研究センター, 4.中国科学院上海植物生理生態研究所)	305 イネ脱粒性の発育遺伝 高木恭子・石郷岡典子・紺谷学・○大西一光・佐野芳雄（北大院農）
	◆座長 野田和彦（岡山大資生研）	◆座長 平野博之（東大農学生命科学）	◆座長 江面 浩（筑波大農林）
10:00	106 ミトコンドリア分裂に関わるイネダイナミン様タンパク質遺伝子の解析 ○藤本優・有村慎一・中国幹生・堤伸浩（東大農学生命科学）	206 イネ種子の長径を支配する新規トクロムP450遺伝子 ○田邊純代1, 田中千春1, 芦刈基行2, 藤岡昭三3, 矢野昌裕4, 吉村淳5, 北野英巳2, 松岡信2, 藤澤由紀子1, 加藤久晴1, 岩崎行玄1 (1福井県立大院・生物資源, 2名大・生物機能開発利用研究センター, 3理研・植物科学研究センター, 4農業生物資源研究所, 5九大院・生物資源開発環境科学)	306 イネの水抽出物がレタス実生に及ぼす生育抑制効果の種間および品種間変異 ○江花薫子1・奥野真敏1 (1 生物研)
10:12	107 細胞質置換コムギを用いた <i>Ae. mutica</i> のミトコンドリアゲノムの解析 ○堀川明彦・梶川光・松崎準・寺地徹（京産大工）	207 <i>TERMINAL FLOWER1</i> パラホモログへのトランスポゾン挿入で全ての四季咲き性現代バラが生まれた ○岩田光1、荒木崇2 (1.湧永製薬(株)薬用植物園, 2.京大 院理 植物)	307 人為合成植物キメラの作成と利用 平田豊1・茂木岳1・野口貴2 (1.農工大院農, 2.都農試、立川)
10:24	108 低温環境におけるイネ・ミトコンドリア遺伝子 <i>cox2</i> の転写後調節の解析 ○栗原志保・松葉修一（北海道農研）	208 <i>Vrn-A1</i> 遺伝子領域の塩基配列変異から見たコムギにおける播性の進化と多様化 ○加藤鎌司1・福山詩織1・明石由香利1・吉野照道1・L. Yan2・J. Dubcovsky2 (1. 岡山大農, 2. UC Davis)	308 キンギョソウトランスポゾンTam3転移酵素タンパク質の細胞内局在解析 ○橋田慎之介・三上哲夫・貴島祐治（北大院農学）
10:36	109 <i>rpl27</i> 遺伝子のプロモーターは遺伝子重複により獲得した ○上田実1,2・堤伸浩2・門脇光一1(1.農業生物資源研究所, 2.東大農学生命科学)	209 <i>Oryza glaberrima</i> における広範囲な遺伝的変異による <i>GSTZ1</i> 遺伝子の破壊 ○土屋徳司・中村郁郎（千葉大院自然科学）	309 キンギョソウ交配系統における斑入り出現パターンの多様性 ○村上賢悟・佐野芳雄・貴島祐治（北大院農）
10:48	110 超強力小麦粉の生地物性に関連する低分子量グルテニン遺伝子の全長 cDNA ○船附稚子1・高田兼則2・加藤明1・齋藤浩二1・田引正1・伊藤美環子1・西尾善太1・船附秀行1・山内宏昭1 (1.北海道農研, 2. 近中四農研)	210 イネの根の発生・分化を制御する <i>CRL1</i> 遺伝子の解析 ○犬飼義明1・柴田葉子2・芦刈基行1・服部一三2・北野英己1・松岡信1 (1. 名大生物機能開発利用研究セ, 2. 名大院生命農学)	310 トランスポゾンによる遺伝子干渉～キンギョソウ <i>nivea</i> 座の事例～ ○内山貴子・桑原裕之・佐野芳雄・貴島祐治（北大院農）

1日目 (3月30日) 午前			
第4会場	第5会場	第6会場	3月30日
<p>◆座長 山岸 博 (京都産大工)</p> <p>401 SSRに基づく日本のイネ・コアコレクションの作成 ○小島洋一朗・福岡修一・江花薫子・入江憲治・河瀬眞琴 (生物研)</p> <p>402 ラオス中部ヴィエンチャン平野における野生イネ (<i>Oryza rufipogon</i>, <i>O. nivara</i>) および栽培イネ (<i>O. sativa</i>) のSSR多型からみた集団遺伝構造 ○黒田洋輔1・佐藤洋一郎2・Chay Bounphanousay3・河野泰之4・田中耕司4 (1.京大ASAFAS、2.地球研、3.ラオス国立農業セ、4.京大CSEAS)</p> <p>403 イネ属CCゲノム種の集団内多様性解析 Nonnatus S. Bautista・加賀秋人・Paul L. Sanchez・Jonson-Miranda Gilca・伊勢村武久・友岡憲彦・Duncan A. Vaughan (生物研)</p> <p>404 ダイコンにおける葉緑体PCR-RFLP解析 ○律娜・山根京子・大西近江 (京大院農学)</p> <p>405 AFLPによる<i>Brassica rapa</i> 栽培種の類縁関係と伝播経路の解析 ○宅野将平・安井康夫・河原太八・大西近江(京大院農学)</p>	<p>◆座長 佐藤雅志 (東北大院生命)</p> <p>501 イネの野生種および栽培種における芒遺伝子座の検出とマッピング ○松下修司・土井一行・安井 秀・吉村 淳 (九大院農)</p> <p>502 準同質遺伝子系統を用いたイネの浮稲性の遺伝分析 ○河野律子・土井一行・安井 秀・望月俊宏・吉村淳 (九大院農)</p> <p>503 イネ半矮性遺伝子<i>sd-1</i> 座と連鎖する筋不裂開による雄性不稔性の解析 ○入江憲治1・巖花2,3・Ye Tint Tun1・長峰司4・藤巻宏1・菊池文雄1 (1.東農大、2.中国新疆農科院、3.国際農研、4.生物研)</p> <p>504 イネ維管束で発現する転写因子の発現解析 ○草野博彰1,2・浅野敬幸1・島田浩章2・門脇光一1 (1.農業生物資源研、2.東京理科大・生物工)</p> <p>505 オオムギ種子ポリキシングナーゼの研究V. <i>LOX-1</i> 欠失変異の分子機構 ○廣田直彦1・金子隆史1・伊藤一敏1・武田和義2 (1.サッポロビールバイオリソース研、2.岡山大資生研)</p>	<p>◆座長 高野哲夫 (東大アジアセンター)</p> <p>601 MATベクターを用いた耐塩性イネ (<i>Oryza sativa</i> L.cv."Nipponbare") の作出 ○立石洋子1・片山雄飛1・笠原(遠藤)さおり2・杉田耕一2・海老沼宏安2・本橋強1・駒嶺穆3(1.東農大農、2.日本製紙森林科学研、3.進化生研)</p> <p>602 カタラーゼ遺伝子 (<i>katE</i> 遺伝子) 導入による耐塩性インド型イネ品種BR-5の作出 ○舟橋達也1・穴戸利行2・浅田正貴3・廣瀬咲子4・本橋強1・駒嶺穆5 (1.東農大農、2.東北大院生命科学、3.横浜市大学院総合理学、4.農業生物資源5.進化生研)</p> <p>603 イネ品種「密陽23号」と「日本晴」のカドミウム吸収特性の差異 ○北川悦子・佐藤友博・田口茂春 (秋田農試)</p> <p>604 イネのリン酸欠乏によって誘導される根伸長1. 品種間差とQTL解析 ○清水顕史1・柳原誠司2・川崎信三3・池橋宏1(1.日本大生物資源、2.国際イネ研究所、3.生物研)</p> <p>605 浸透圧ストレスに対するイネの根の伸長応答 ○植木千恵1、Ben Mohamed Lobna1、秋廣高志2、藤村達人3 (1.筑波大学大学院バイオシステム研究科、2.筑波大学大学院農学研究科、3.筑波大学農林工学系)</p>	9:00
<p>◆座長 荒木悦子 (近中四農研)</p> <p>406 アジア産ヒエ属植物のマイクロサテライト変異 ○山口裕文1・河田規与1・赤坂真由美1 (1大阪府立大・農生命)</p> <p>407 SSR座を含む葉緑体DNA塩基配列多型からみたコムギ・エギロブス属における種内および種間の系統解析 ○山根京子・安井康夫・河原太八 (京大院農学)</p> <p>408 モロッコ産未同定の<i>Aegilops</i> 属四倍体とUUMMゲノムを有する既知の<i>Aegilops</i> 属4種との間の細胞遺伝学的類縁性 ○坂口梓織・大田正次(福井県大生物資源)</p> <p>409 SSRマーカーを用いたアズキ栽培一雑草一野生複合の解析 4. 鳥取県の自生集団における遺伝子浸透 ○Jonson-Miranda Gilca・加賀秋人・Ouk K. Han・伊勢村武久・Nonnatus S. Bautista・Paul L. Sanchez・友岡憲彦・Duncan A. Vaughan (生物研)</p> <p>410 分類学的に<i>Vigna trilobata</i> と混同されてきた<i>V. stipulacea</i> とリュウクトウ (<i>V. radiata</i>) の種間交雑 ○友岡憲彦・加賀秋人・伊勢村武久・Duncan A. Vaughan (生物研)</p>	<p>◆座長 安井 秀 (九大院農)</p> <p>506 アズキの栽培化関連形質に関するQTL解析 ○伊勢村武久1・加賀秋人1・Ouk K. Han1・小西左江子2・安藤露2・友岡憲彦1・Duncan A. Vaughan1 (1.生物研、2.農林水産先端研)</p> <p>507 野生オオムギに由来する染色体組換え置換系統群の開発 ○佐藤和広1・堀清純1・南角奈美1,2・武田和義1 (1.岡山大資生研 2.CREST)</p> <p>508 オオムギ倍加半数体および染色体組換え置換系統群における農業形質遺伝子座の比較 ○堀清純1・南角奈美1,2・佐藤和広1・武田和義1 (1.岡山大資生研、2. CREST)</p> <p>509 オオムギの異なる交配集団における休眠性QTLの比較 ○石井 誠・堀 清純・佐藤和広・武田和義 (岡山大資生研)</p> <p>510 コムギ3Aおよび第4同祖群染色体の種子休眠性と農業形質のQTLsマッピング ○内野紀彦・森正彦・加藤清明・三浦秀穂 (帯広畜大)</p>	<p>◆座長 平野 久 (横浜市大木原生研)</p> <p>606 <i>OsHCTR</i> 高発現イネのメタボローム解析 ○高橋秀行・堀田雄司・林光紀・内宮博文 (東大・分生研)</p> <p>607 <i>OsHCTR</i> 高発現イネのプロテオーム解析と細胞死制御 ○堀田雄司1・高橋秀行1・林光紀1・川合真紀1・小松節子2・内宮博文1(1.東大分生研、2.農業生物資源研分子遺伝)</p> <p>608 Multi-racial resistance of cvs. Asoninori and IR BB21 against to Myanmar isolates (<i>Xanthomonas oryzae</i> pv. <i>oryzae</i>) ○Ye Tint Tun1, H. Kaku2, Si Si Myint3, K. Irie1, T. Nagamine2, T. Noda4, and H. Fujimaki1(1.Tokyo U. of Agric., 2. Nat. Inst. Agrobiol. Sci., 3. CARI, Myanmar, 4. JIRCAS)</p> <p>609 Estimation and comparison of salinity tolerance during seedling stage in several indica and japonica rice cultivars. ○Javed,M.A.1,S.Miso02,T.Ishii2 and O.Kamijima2 (1.Grad.Sch.Sci.Tech.,Kobe U.,2.Fac.Agr.,Kobe U.)</p> <p>610 Screening for submergence tolerant lines in rice ○Oliver E. Manangkil・Nayden Naydenov・C. Nakamura (Fac. Agr., Kobe U.)</p>	10:00
			9:36
			9:48
			9:24
			9:36
			9:48
			10:00
			10:12
			10:24
			10:36
			10:48

1日目(3月30日) 午前			
3月30日	第1会場	第2会場	第3会場
	◆座長 門脇光一(生物研)	◆座長 山元皓二(長岡技術科学大)	◆座長 栗原志保(北海道農研)
11:00	111 チャの細胞質型グルタミン合成酵素遺伝子の単離と解析 ○谷口郁也・田中淳一(野菜茶研(枕崎))	211 Structure and function of beta-amylase alleles in cultivated barley ○Zhang, W.S.1,2, T. Kaneko3, D. Saisho1 and K. Takeda1 (1. RIB, OkayamaU., 2. Shijiazhuang Inst. Agric. Mod., Chinese Aca. Sci., 3. Plant Bioeng.Res. Lab., Sapporo Brew. Ltd.)	311 ダイコン品種における低温発芽能と開花に対する低温要求性の関連 坂本日香里・高橋善臣・穴戸理恵子・○野村和成・池橋宏(日本大生物資源)
11:12	112 コムギの種子特異的に発現するポリフェノールオキシダーゼ(SSPPO)と小麦粉の色相変化との関連性 ○馬場利邦1、水見英子1、谷中美貴子2、石川直幸2、野田和彦1(1.岡山大学資生研、2.近中四農研)	212 エノキタケ、 <i>Flammulina velutipes</i> 、におけるPCR-RAPDマーカーの連鎖解析 ○久場章弘・種坂英次・吉田元信(近畿大農)	312 低温によるシロイヌナズナ種子発芽の遅延におけるアブジン酸の関与 ○吉田卓弘、今村西、藤茂雄、川上直人(明大農)
11:24	113 コメ品種判別用マーカーセットの開発 ○新村和則・金川寛・三上隆司(株式会社サタケ)	213 北海道秋まき小麦「きたもえ」の穂発芽耐性に関するQTL近傍へのPCRマーカー開発 ○藤田淳史・小池倫也(北海道グリーンバイオ研究所)	313 Changes in the alternative respiratory pathway during seed germination in wheat ○Naydenov, N. and C. Nakamura (Fac. Agr., Kobe U.)
11:36	114 ゴマのトコフェロール生成酵素遺伝子の発現解析 ○木谷雅和1・藤安壁一郎1・若杉達也1・増田恭次郎1・柴田勝2・山田恭司1(1.富山大理生物、2.長岡高専)	214 コムギSSRマーカーの開発。3.開発状況ならびにPCRによるTACクローンからのSSR配列単離の試みについて ○小池倫也1・藤田淳史1・持田恵一2・萩原保成2(1.北海道グリーンバイオ研究所 2.横浜市立大学・木原生物学研究所)	314 メロンにおける性表現のエチレン反応 黒川真奈未1・○明石由香利1・松浦誠司2・吉野照道1・加藤謙司1(1.岡山大農、2.(株)トーホク)
11:48	115 イネゲノムからのRTBV様ウイルスゲノムの再構築 ○神田正典・園井基行・長野宏則・佐野芳雄・貴島祐治(北大院農学)	215 バレイショ抵抗性育種への分子マーカーの利用 XIII. 既存マップの統合 山中慎介1、池田成志1、○今井篤1,2、樂雨時1,3、渡邊純子1、渡邊和男1(1.筑波大遺伝子、2(独)果樹研口之津、3大連理工大)	315 エチレン受容体遺伝子を導入した不稔組換えタバコの肥料変化に対する形質安定性の評価 杉山絵里1、○石丸健太郎2、高田圭太3、鎌田博4、江面浩5(1.筑波大生物資源、2.筑波大院バイオシステム、2.筑波大生命環境、3.筑波大生物、4.筑波大農林)
	◆座長 寺地 徹(京産大工)	◆座長 藤田淳史(北海道グリーンバイオ)	◆座長 丸橋 亘(茨城大農)
12:00	116 黄ダイズおよびその種皮着色変異体の種皮に存在する各CHS遺伝子メンバーの転写産物量に関する比較解析 ○葛西厚史1・藤森桂2・赤田辰治1・石川隆二2・原田竹雄2・新関裕2・千田峰生1(1.弘大遺伝子実験施設、2.弘大農学生命)	216 ナンの連鎖地図 V. ニホンナシ、セイヨウナシの連鎖地図作成とリンゴ地図との統合 ○山本俊哉1・木村鉄也2・西谷千佳子1・松田長生1・壽和夫1・Eric van de Weg3・林建樹1(1.農研機構果樹研、2.種苗管理セ、3.Plant Research International)	316 <i>Brassica oleracea</i> と <i>Brassica rapa</i> の自家不和合性クラス・S 遺伝子座のゲノム構造の比較 ○藤本龍1・岡本俊介1・岡崎桂一2・西尾剛1(1.東北大院農、2.新潟大農学部)
12:12	117 SMVは何故、黄ダイズ種子に病斑を形成させるか? ○千田峰生1・葛西厚史1・佐野輝男2(1.弘大遺伝子、2.弘大農学生命)	217 <i>Brassica rapa</i> における連鎖地図を用いたシロイヌナズナとのシテナー解析 ○諏訪部圭太1・塚崎 光1・池谷祐幸2・富山勝徳1・藤村みゆき1・近藤正敏1・布目 司1・福岡浩之1・平井正志3・松元 哲1(1.野菜茶業研究所、2.農業・生物系特定産業技術研究機構本部、3.京都府大農)	317 四倍体ニラの中に見出された非単為発生個体とその生殖性 ○中澤洋子・生井潔・小林俊一・田崎公久・酒井美幸・天谷正行(栃木農試)
12:24	118 パンコムギのDREB2 ホモログの環境ストレスによる発現誘導 ○江川千佳子1・小林史典1・中村俊樹2・中村千春1・宅見薫雄1(1.神戸大農、2.東北農研セ)	218 ハクサイ根こぶ病抵抗性遺伝子座(<i>Crr-1</i>)の詳細マップ ○松元 哲1・近藤正敏1・藤村みゆき1・國久美由紀1・吹野伸子1・諏訪部圭太1・平井正志2(1.農研機構野茶研、2.京都府大農)	318 減数分裂期の染色体対合が欠損するイネ <i>pair1</i> 突然変異体の細胞学的解析 ○野々村賢一1・中野睦子1・永口貢1・宮尾安藝雄2・広近洋彦2・倉田のり1,3(1.遺伝研、2.農業生物資源研、3.総研大生命科学)
12:36	119 パンコムギのCBF/DREB1 ホモログの低温による発現誘導 ○久米 忍・小林史典・大野良子・中村千春・宅見薫雄(神戸大農)	219 中国・朝鮮のジャポニカ型在来イネとの比較による日本の栽培イネのゲノム構成解析 ○田淵宏朗1・林敬子1・芦川育夫1・佐藤洋一郎2(1.中央農研、2.地球研)	319 ガンマ線照射によって誘発されたイネの花粉発育異常突然変異体 ○山形悦透・土井一行・安井 秀・吉村 淳(九大院農)
12:48	120 パンコムギ第5染色体のCOR 遺伝子群の発現に及ぼす影響 ○小林史典1・宅見薫雄1・石橋万智子1・久米忍1・中田美華代1・大野良子1・村井耕二2・中村千春1(1.神戸大農、2.福井県立大生物資源)	220 ニホンナシ「新高」におけるSSRマーカーの開発 ○松木裕美・井上栄一・安西弘行(茨大遺伝子)	320 <i>Prunus</i> 属植物の自家不和合性ハプロタイプにおけるSFB 遺伝子の変異 ○牛島幸一郎・渡島子・池田和生・田尾龍太郎(京大院農学研究所)

1日目(3月30日) 午後	
3月30日	弥生講堂・一条ホール
	総会・受賞講演
14:15	受賞講演 ★平野 久(横浜市立大学木原生物学研究所) 「植物タンパク質の構造と機能に関する遺伝育種学的研究」 ★陸稲育種グループ(代表者 平澤 秀雄、茨城県農業研究センター生物学研究所) 「栽培特性と広域適応性に優れ、東北から関東地方にかけて広く普及した陸稲極早稲品種「トヨハタモチ」および日印交配による耐干性極強・食味極良の画期的な中生糯品種「ゆめはたまち」の育成」
17:30	★芦刈 基行(名古屋大学生物機能開発利用研究センター) 「イネ矮性の発現機構に関する分子遺伝学的研究」 ★久保山 勉(茨城大学農学部) 「交雑不親和性にみられる花粉管伸長阻害現象の研究」

1日目(3月30日) 午前			
第4会場	第5会場	第6会場	3月30日
<p>◆座長 笹沼恒男(横浜市大木原生研)</p> <p>411 日本国内で野生化したライグラス集団の遺伝構造. . . ペレニアライグラスとイタリアンライグラスを識別するDNAマーカーの選抜 ○飛宏幸1,2・小泉厚浩2・平田球子3・藤森雅博4・高溝正4・山田敏彦5・山下雅幸2・澤田均2(1.岐大連農, 2.静大農, 3.種子協会, 4.畜草研, 5.北海道農研)</p> <p>412 Brassica 属作物における葉緑体遺伝子間領域(trnF/ndhJ)の構造の種間・種内変異 ○山岸 博・佐々木淳子・石橋篤志(京都産大工)</p> <p>413 日本のダイコンの起源と分化. VII. 栽培・野生ダイコンにおける葉緑体trnF/ndhJ間の塩基配列多型 ○石橋篤志・尾崎昭子・山岸 博(京都産大工)</p> <p>414 オウトウ品種判別におけるSSRマーカーの利用 ○高品善1・松田成美1・木村鉄也2・山本俊哉3・西村幸一1(1.山形園試, 2.種苗管理センター, 3.果樹研究所)</p> <p>415 ナス日本在来品種におけるSSR領域の品種間および品種内多型 ○福岡浩之1・猿渡真1,2・布目司1・大山暁男1(1.野菜茶研, 2.熊本農研セ)</p>	<p>◆座長 佐藤和広(岡山大資生研)</p> <p>511 テンサイ黒根病抵抗性のQTL解析 ○田口和憲・大湯直樹・中司啓二(北海道農研)</p> <p>512 ダイズシストセンチュウレース1抵抗性(PI84751由来)とレース3抵抗性(下田不知系)の関係 ○鈴木千賀1・田中義則2・石本政男3・湯本節三4・白井滋久1(1.北海道立十勝農試, 2.北海道立中央農試, 3.近中四農研, 4.東北農研)</p> <p>513 野生イネ(Oryza rufipogon)と栽培イネ(O. sativa)とのF2集団を用いた出穂期に関するQTL解析 ○阪口誠二・米林涉司・由井里香・王 子軒・美濃部脩三(植物DNA機能研究所/植物ゲノムセンター)</p> <p>514 イネ第4染色体上で見出された新規出穂期関連QTLのマッピング ○宇賀優作1・王 子軒2・美濃部脩三2・矢野昌裕1(1.生物研, 2.植物DNA機能研究所/植物ゲノムセンター)</p> <p>515 トウモロコシ北方型フリント種の早生性に関するQTL解析 ○榎 宏征・濃沼圭一・三木一嘉(北農研)</p>	<p>◆座長 藤村達人(筑波大農林)</p> <p>611 タバコ種間雑種(Nicotiana glauca Domin × N. tabacum L.)後代におけるモモアキアブラムシ殺虫成分, デュバトリエンオール, の生成 ○高木正志・畑中一郎・月森敦之・小村紗耶子・井上雅好(京府大院農学)</p> <p>612 Oryza minuta 由来イネトビロウカ抵抗性遺伝子の同定 ○平林秀介1・出田収1・佐藤宏之1・竹内善信1・安東郁男1・根本博1・井辺時雄1・D.S. Brar2・小川紹文3(1.作物研, 2.IRRI, 3.近中四農研)</p> <p>613 稲白葉枯病抵抗性複合遺伝子品種群の分布-Xa14を合わせ持つ品種群 小川紹文1・○遠藤昇2・秋吉美穂2(1.近畿中国四国農業研究センター, 2.大成建設技術センター)</p> <p>614 甘しょのサツマイモネコブセンチュウレース特異的抵抗性の遺伝解析 I. 甘しょ品種!ハイスターチに由来する抵抗性の遺伝 ○中山博貴・高畑康浩・熊谷亨・佐野善一(九州沖縄農研)</p> <p>615 トビロウカに対するイネの抗生作用に関するQTLの検出 ○園田智広・吉村 淳・安井 秀(九大農)</p>	11:00
<p>◆座長 大田正次(福井県大生物資源)</p> <p>416 AFLPに基づいたゴマ遺伝資源の多様性と原産地の関係 ○勝田真澄・Ghulam M. Ali・安本知子(作物研)</p> <p>417 RAPDによるオオコクログワイ(Eleocharis dulcis var. tuberosa)の起源種の推定 ○谷本忠芳・西村秀洋(大阪府立城山高等学校)</p> <p>418 イネ連鎖不平衡マッピングの応用 I. 第3染色体における栽培化関連領域 ○土岐尚子1・石川隆二1・青木 崇1・佐藤洋一郎2・佐藤雅志3・千田峰生4・赤田辰治4・原田竹雄1・新関 稔1(1.弘大農学生命, 2.総合地球環境学研究所, 3.東北大院生命科学, 4.弘大遺伝子実験施設)</p> <p>419 岡山県に発生した日本型およびインド型雑草イネの遺伝的多様性 ○牛木 純1・石川隆二2・石井俊雄3(1.中央農研センター, 2.弘大農生, 3.岡山県農総センター)</p> <p>420 連鎖不平衡マッピングの応用 II. 第12染色体における雑草化関連因子の探索 ○石川隆二1・川崎順子1・牛木 純2・石井俊雄3・中村郁郎4・佐藤洋一郎5・佐藤雅志6(1.弘大農生, 2.中央農研センター, 3.岡山県農総センター, 4.千葉大院自然科学, 5.総合地球研, 6.東北大院生命科学)</p>	<p>◆座長 鈴木保宏(作物研)</p> <p>516 Survey of genetic loci for indica/japonica heterosis in rice with SSR markers. 3 QTL analysis for senescence. ○Amr F. A., R. Shishido, T. Shimazaki, N. Takashima, M. Nagashima, K. Nomura and H. Ikehashi (Coll. Bioresource Sci., Nihon Univ.)</p> <p>517 イネ種子の寿命に関するQTL解析～種子の老化過程における発芽率を支配するQTLの推移～ ○佐々木和浩1・福田善通2・佐藤雅志1(1.東北大院生命, 2.国際イネ研究所:IRRI)</p> <p>518 イネの玄米品質に関するQTL解析 鮑根良1・○小林麻子2・富田桂2(1.浙江省農業科学院, 2.福井農試)</p> <p>519 イネ稈基部の挫折強度に関するQTL解析 ○至田研1・蛇谷武志1・表野元保1・矢野昌裕2・安藤露3・山本良孝1(1.富山県農技セ, 2.生物研, 3.STAFF研)</p> <p>520 日本型水稻の育種過程で選抜された染色体領域のPRS法による解析 ○白澤健太・岸谷幸枝・西尾剛(東北大院農)</p>	<p>◆座長 笹沼哲夫(横浜市大木原生研)</p> <p>617 本邦陸稲育成品種の系譜全図について 平澤秀雄1・○金 忠男2(1.茨城生工研, 2.元茨城農試)</p> <p>618 酒米育種における酒造特性評価手法の適用効果と有望酒造好適米系統「新潟酒72号」の育成 ○小林和幸1・河合由起子1・松井崇亮1・金田智1・石崎和彦1・鎖倉義仁2・渡邊健一2(1.新潟農総研・作物研, 2.新潟醸造試)</p> <p>619 イネの少分げつ系統の収量性について ○伊勢一男1・孫 有泉2(1.国際農研センター, 2.中国雲南省農科院)</p> <p>620 作物育種研究における変動係数推定のための標本サイズの見出し手法 伊勢一男1・葉 昌榮2・戴 陸園2・○工藤 悟3(1.国際農研センター, 2.中国雲南省農科院, 3.愛知県農総試)</p>	12:00
			12:12
			12:24
			12:36
			12:48

2日目(3月31日) 午前			
3月31日	第1会場	第2会場	第3会場
	<p>◆座長 赤田辰治(弘前大遺伝子)</p> <p>9:00 121 エリシターおよび病原体感染処理によるイネPR-3キチナーゼ遺伝子の発現 影山大輔、○築山拓司、中崎鉄也、田中千尋、奥本裕、谷坂隆俊(京大院農)</p> <p>9:12 122 オオムギ特異的タンパク質P23kの機能解析～転流機構への関与～ ○及川愛、江尻慎一郎、木藤新一郎(岩手大学農学部)</p> <p>9:24 123 ヤーコン(<i>Smilax asarifolia</i>)のフラクトオリゴ糖生成遺伝子1-SSTの全長cDNAの単離とその解析 ○砂山陽亮・永田裕加里・伊藤紀子・井上栄一・安西弘行(茨城大遺伝子)</p> <p>9:36 124 二次元電気泳動によるイネ種子発芽過程におけるプロテインキナーゼ活性の解析 ○榎戸彩子・荒館のぞみ・金勝一樹(農工大農)</p> <p>9:48 125 ソバ主要アレルゲンタンパクの低減化に向けた発現解析 ○吉岡宏幸・足立泰二(大阪府大農学生命科学)</p>	<p>◆座長 久保山勉(茨城大農)</p> <p>221 DNA多型によるナス品種鑑別法の開発 ○古川真・谷本秀夫(大阪食とみどり技セ)</p> <p>222 画像解析を用いて計測したいくつかの新しい多収イネ品種の草型の特徴 ○岡 正明・小川真史(宮城教育大学)</p> <p>◆座長 芦川育夫(中央農業総合研究センター)</p> <p>224 日本型イネとJamaicaの雑種弱勢原因遺伝子Hwc2のポジショナルクローニングに向けて 山内藍1、○斎藤利弥1、松本雄一1、林珍仙1、一谷勝之2、丸橋亘1、久保山勉1(1.茨城大農、2.鹿児島大農)</p> <p>225 オオムギESTマップ作製におけるSNPタイピングシステム ○南角奈美1,2・元井由加1,2・佐藤和広1・武田和義1(1.岡大資生研, 2.CREST)</p>	<p>◆座長 加藤純司(岡山大農)</p> <p>321 小麦の出穂早晩性に影響する遺伝的要因の地域間差異。 ○谷尾昌彦1・田村泰章1・佐藤光徳1・荒木和哉2・西尾善太3・乙部千雅子4・石川直幸5・平将人6・波多野哲也6・松岡誠1(1.国際農研、2.道立北見農試、3.北農研、4.作物研、5.近農研、6.九州研)</p> <p>322 イネのdm型節間長比を制御する遺伝子<i>Ss1</i>が倒伏抵抗性と穂形質に及ぼす影響 ○春原英彦1・呉雄2・小枝剛3・北野英己1(1.名大生物機能開発利用研究センター、2.名大院生命農学、3.岐阜農総研セ)</p> <p>323 イネの基本栄養生長相を増大させる晩生突然変異遺伝子の解析 ○西田英隆1・井上博茂2・中崎鉄也2・奥本裕2・谷坂隆俊2(1.岡山大学農学部、2.京都大学大学院農学研究科)</p> <p>324 イネの<i>rcn1</i> 変異体の形質発現とマッピング ○加藤清明1・足利和紀1・高牟礼逸朗2(1.帯広畜産大、2.北大院農)</p> <p>325 イネ小穂の形態形成に関わる突然変異遺伝子の相互作用 -<i>db(t)</i>(2重外穎)と<i>lrs</i>(葉化穎不稔)- 高牟礼逸朗(北大院農)</p>
	<p>◆座長 佐々英徳(横浜市大木原生研)</p> <p>10:00 126 シロイヌナズナの地上部と根における遺伝子発現の塩ストレス応答 ○米本智仁1・櫻井望2・柴田大輔2・高野哲夫1(1.東大アジアセンター、2.かずDNA研究所)</p> <p>10:12 127 鉄欠乏誘導性シスエレメントIDE1、IDE2の同定 ○小林高範1,2,3・吉原利一2・中山優子1,2・板井玲子1,3・中西啓仁1・森敏1・西澤直子1,3(1.東大院・農学生命科学、2.電中研・生物科学、3.CREST)</p> <p>10:24 128 ダッチアイリスにおけるアントシアニン3-グルコシルトランスフェラーゼcDNAクローンの単離と解析 ○吉原法子1・今山輝之2・水谷正子3・奥原宏明4・田中良和4・井野邦男5・藪谷 勤1(1.宮崎大農、2.鹿児島大農、3.サントリーフラワーズ、4.サントリー先進技術応用研、5.宮崎大教文)</p> <p>10:36 129 cDNAマクロアレイを用いたわい性トマト“Micro-Tom”の果実成熟過程における大量遺伝子発現解析 ○津金胤昭1、前田ふみ3、渡邊学3、矢野顕太郎3、本居聡子1、桑田主税1、鈴木秀章1、山本直樹3、Moez Toriki 2、西村繁夫2、丸輪1、柴田大輔3(1.千葉農総研セ、2.筑波大、3.かずDNA研)</p>	<p>226 二倍体コムギマップ集団へのオオムギESTマーカーの導入 ○竹原小百合1・南角奈美1,2・元井由加1,2・堀清純1・佐藤和広1・笹隈哲夫3・武田和義1(1.岡大資生研, 2. CREST, 3. 横浜市大木原生研)</p> <p>227 オオムギ野生種の自家不和合性遺伝子座周辺における組換え抑制 ○掛田克行1・武田真2(1.三重大生物資源、2.香川大農)</p> <p>228 イネの第6染色体に座乗する障害型耐冷性遺伝子の位置 ○須藤充・神田伸一郎・坂井真(青森農総研)</p> <p>229 ダイズのカルコンシンターゼマルチゼンファミリーのマッピング ○松村尚和1・渡辺啓史2・原田久也2・千田峰生3・赤田辰治3・川崎信二4・高橋良二5(1.筑波大院生命環境、2.千葉大園芸、3.弘大遺伝子実験施設、4.生物研、5.作物研)</p>	<p>◆座長 北野美己(名大生物機能セ)</p> <p>326 クワ(<i>Morus alba</i> L.)における葉の背腹性変異“両面桑”の発育特性 ○焦鋒1・柏森美如2・Tatang Sopian 2・太田雄三1・平田豊2(1.東京農工大学・連大、2.東京農工大学・国際環境農学)</p> <p>327 タバコの幼若な葉にみとめられたプログラム細胞死 ○堀井学・丸橋亘(茨城大農)</p> <p>328 左右非相称な葉を分化するイネ突然変異体の解析 ○小原真理・伊藤純一・長戸康郎(東大農学生命科学)</p> <p>329 イネ<i>plastochron2</i> 変異体の解析。 ○川勝泰二、伊藤純一、長戸康郎(東大農学生命科学)</p>
	<p>◆座長 西村繁夫(筑波大農林)</p> <p>11:00 131 22Kイネオリゴアレイを用いたイネ各種生育ステージとカルス再分化ステージの遺伝子発現解析 ○田崎公久1・大岡久子2,3・山田仁美2・Lee, Jung-Sook4・佐藤浩二2・菊池 尚志2(1.栃木県農業試験場、2.農業生物資源研究所、3.長岡技術科大、4.韓国農村振興庁)</p> <p>11:12 132 イネ完全長cDNAより見られたtrans-splicingクローンの解析1-in silico 解析によるTrans-splicingパターンの分類一 ○佐藤浩二1・大岡久子1,2・山田仁美1・山本誠3・鈴木宏史3・菊池尚志1(1.農業生物資源研究所、2.長岡技術科学大学、3.日立ソフト)</p>	<p>◆座長 掛田克行(三重大生物資源)</p> <p>230 イネ12番染色体の1%以上はミトコンドリアゲノム由来であった ○西川智太郎・佐々木卓治・門脇光一(農業生物資源研究所)</p> <p>231 フランス野生ビート由来雄性不稔細胞質のミトコンドリアゲノム構造 ○川西由紀・品田博史・久保友彦・三上哲夫(北海道大学大学院・農学研究科)</p> <p>232 ベレニアルライグラスにおけるCK2αサブユニット遺伝子の単離とマッピング ○塚藤大士1・久野裕1・E. S. Jones2・J. W. Forster2・喜多村啓介1・山田敏彦3(1.北大院農、2. Plant Bio. Cen., AV-DPI, Australia、3. 北海道農研)</p>	<p>330 キャベツの結球性に関する遺伝分析. VII. 初期葉の葉形と早晩性の関係 ○田中紀史1・新倉聡1・武田和義2(1. 憐トローホク、2. 岡山大学資生研)</p> <p>◆座長 伊藤純一(東大農学生命)</p> <p>331 イネ巨大胚遺伝子の単離と解析 ○Nagasawa, N.I., Heppard, P.E.1, Glassman, K.2, Shen, B.2, Tarczynski, C. M.2, Williams, E. M. 1, Zong, G.-Y.1, Sakai, H.1(1. DuPont Crop Genetics Wilmington, DE, 2. Pioneer Hybrid, Johnston, IA)</p> <p>332 イネジベレリン欠損突然変異体の解析 ○坂本知昭1・三浦孝太郎2・伊藤博紀2・辰巳朋子2・上口(田中)美弥子2・石山加奈子3・小林正智3・Ganesh K. Agrawal 4・武田真4・阿部清美4・宮尾安藤雄4・廣近洋彦4・芦野基行2・北野英己2・松岡信2(1. 東大院・農、2. 名大・生物機能開発、3. 理研・バイオリソース、4. 生物研・分子遺伝)</p>

2日目(3月31日) 午前			
第4会場	第5会場	第6会場	3月31日
<p>◆座長 中村郁郎(千葉大自然科学)</p> <p>421 中国・新疆ウイグル自治区における春播コムギの特性解明 ○巖花1・藤巻宏2(1. 新疆農科院・作物品種研、2. 東京農大・国際開発)</p> <p>422 中国・新疆ウイグル自治区における春播コムギ地方品種の系統分化と多様性解析 ○巖花1・藤巻宏2(1. 新疆農科院・作物品種研、2. 東京農大・国際開発)</p> <p>423 Uゲノム特異的CAPSマーカーから見たエギロブス属ポリアイデス節の種内および種間変異 ○藤岡紗代1・笹沼恒男1・河原太八2・笹隈哲夫1(1. 横浜市大木原生研、2. 京大院農学)</p> <p>424 栽培オオムギにおける標性の起原 ○武田真1,2・菊池慎一1・粟山貴也1・山本 傑1・井眞比古1・川崎信二3(1. 香川大農、2. CREST、3. 生物研)</p> <p>425 コムギ <i>Wknox1</i> ホメオボックス遺伝子座の変異からみた <i>Triticum carthlicum</i> の成立 ○宅見薫雄・森本涼子・中村千春(神戸大農)</p>	<p>◆座長 大谷基泰(石川農短大農資研)</p> <p>521 ネギの葉身長径比およびビルビン酸生成量のダイアレル分析 ○小島昭夫1・安藤利夫1,2・塚崎光1・山下謙一郎1・小原隆由1(1. 野菜茶研、2. 千葉農総研セ)</p> <p>522 低アミロース米品種“スノーパール”より選抜したアミロース含量が増大したイネ変異体 <i>SP14</i> の遺伝解析 ○鈴木保宏1・平野博之2・佐野芳雄3・伊勢一男4・松倉 湖1・山田彰一5・高見幸司5・佐藤宏之1(1. 作物研、2. 東大農学生命科学、3. 北大院農、4. 国際農研セ、5. 日本水産中央研)</p> <p>523 アッサムイネ品種ARC10303とササニシキとの間で見出された雑種崩壊に関する遺伝解析 ○福岡修一1・M. C. V. Newingham2・長峰 司1・奥野員敏1(1. 生物研、2. フィリピンイネ研究所)</p> <p>524 コムギ <i>waxy</i> 遺伝子に発見されたトランスポゾン様配列の特徴 ○齊藤美香1・米丸淳一1・根田美和子2・石川吾郎1・中村俊樹1(1. 東北農研セ、2. 岩手農研セ)</p> <p>525 イネ品種銀坊主におけるトランスポゾン <i>Ping</i> および <i>mPing</i> の特異的増幅 ○奥本 裕1・内藤 健1・中崎鉄也1・堀端 章2・谷坂隆俊1(1. 京大大学院農学研究所、2. 近大生物理工)</p>	<p>◆座長 山田恭司(富山大理)</p> <p>621 ダイズの <i>stearoyl-ACP desaturase</i> 遺伝子群の構造と高オレイン酸系統の持つ突然変異遺伝子についての解析 ○穴井豊昭、M.P.C.S. Dhanapala、坂元孝太、高木胖(佐賀大学農学部)</p> <p>622 ダイズ種子中のトコフェロール組成の品種間差 ○喜多村啓介1・氏家綾1・山田哲也1・藤本健四郎2・遠藤泰志2(1. 北大院農学、2. 東北大院農学)</p> <p>623 ダイズおよびツルマメの脂肪酸含有率の分布について— ツルマメの高リノレン酸形質および高オレイン酸ダイズ品種の検索 ○氏家綾1・山田哲也1・高山清彦1・市原謙一2・喜多村啓介1(1. 北大院農学、2. 京都府大農)</p> <p>624 化学発光マクロアレイ法を用いたダイズ種子由来cDNAクローンの発現解析 ○西美友紀、高木胖、穴井豊昭(佐賀大学農学部)</p> <p>625 栽培場所及び条件の異なるダイズ品種サチユタカのフィチン酸含量と豆腐加工適性 ○菊池彰夫1・石黒貴弘2・猿田正恭1・岡部昭典1・塚本知玄2・小野伴忠2(1. 近中四農研、2. 岩手大農)</p>	9:00
<p>◆座長 渡邊和男(筑波大遺伝子)</p> <p>426 DNAマーカーで検出されたミャンマー産イネ品種の遺伝的多様性 ○Ohm Mar Saw1・土井一行1・Khin Aye2・入江憲治3・吉村 淳1(1. 九大院農、2. Seed Bank, Mynmar、3. 東京農業大学)</p> <p>427 NFL 遺伝子 (<i>LEAFY</i> ホモログ) の塩基配列に基づくタバコ (<i>Nicotiana tabacum</i>) の起源 ○角谷直人1・青木誠志郎2・伊藤元己2(1. 東京農大総合研究所、2. 京大大学院総合文化研究科)</p> <p>428 SSRマーカーを用いた <i>indica</i> 品種の遺伝的多様性 ○大角信介1,2・佐藤洋一郎3(1. 岐大連合農、2. 静大農、3. 総合地球環境学研究所)</p> <p>429 <i>Oryza</i> 属における <i>Pol I</i> 遺伝子座第19イントロンのDNA多型 ○高橋弘子・中村郁郎(千葉大自然科学)</p> <p>430 ベトナムにおける香り米品種の評価 Nguyen Loc HIEN1・平田豊2・(1. 東京農工大学・連大、2. 東京農工大学・国際環境農学)</p>	<p>◆座長 小島昭夫(野菜茶業研)</p> <p>526 プロリン合成酵素遺伝子を導入した形質転換ベチュニアの環境ストレス耐性 ○山田美加1・塩崎紀子1・浦野薫2・篠崎和子3・篠崎一雄2・吉羽洋周1(1. 日立中研ライフサイエンス、2. 理研、3.(独) 国際農研)</p> <p>527 形質転換リンドウのDNAメチル化による外来遺伝子発現抑制 ○三柴啓一郎、西原昌宏、中塚貴司、菊池亮子、山村 三郎(財) 若手生物工学研究センター)</p> <p>528 耐塩性樹木: タマリクスでの組織培養系の検討 ○吉田光毅、秋吉美穂、万寿角英、遠藤 昇(大成建設技術センター)</p> <p>529 タマネギを利用した植物による物質生産の可能性について ○松本佳代1・安積良隆1・上西愛2・野村研2・北宜裕2・鈴木秀穂1(1. 神奈川大理工学生物、2. 神奈川県農総研生物資源)</p> <p>530 トウガラシ <i>Capsicum annuum</i> と <i>C. baccatum</i> との接木によって誘導された変異の解析 椎口勝弘1・○網代卓祐1・崔成澤1・張艶菊2・平田豊1(1. 農工大院農、2. 中国東北農大園芸)</p>	<p>◆座長 安東郁男(作物研)</p> <p>627 イタリアンライグラスにおける新規冠冠及び病抵抗性遺伝子 (<i>Pc3</i>) の同定 ○藤森雅博1・平田球子1,2・間野吉郎1・佐藤広子1・高溝正1(1. 番草研、2. 種子協会)</p> <p>628 雲南由来日本型イネ系統「中部111号」のいもち病圃場抵抗性について(第2報) ○寺島竹彦1・井上正勝1・林長生2・坂紀邦1・福岡修一2・工藤悟1(1. 愛知農総試山間、2. 生物研)</p> <p>629 メロン系統WMR 29とMR-1がもつどんこ病レース1抵抗性の遺伝解析 ○葛谷真輝1・富田健夫1・江面浩2(1. 茨城生工研、2. 筑波大農林・遺伝子セ)</p> <p>630 メドウフェスクにおけるエンドファイトが採種性に及ぼす影響 ○高井智之1・眞田康治2・山田敏彦2(1. 長野畜試、2. 北農研)</p>	9:36
<p>◆座長 辻本 壽(鳥取大農)</p> <p>431 マルチプレックスPCRによる三重県水稲奨励品種の品種判別 ○橋爪不二夫(三重科技セ農研)</p> <p>432 中国三江地域の野生ソバについて 大西近江(京大院農学)</p>	<p>◆座長 吉羽洋周(日立中研)</p> <p>531 トウモロコシ由来ホスホエノールビルビン酸カルボキシラーゼ (<i>PEPC</i>) 遺伝子を導入した組換えイネの環境に対する安全性評価 ○田部井豊1・深山浩1・古賀保徳1・對馬誠也2・蒲池伸一郎1・田中宥司1,3・徳富光恵1(1. 生物研、2. 農環研、3. 農研機構中央農研)</p> <p>532 重イオンビーム照射によるサツマイモ突然変異の誘発 ○島田多喜子1・大谷基泰1・齊藤宏之2・阿部知子2(1. 石川農短大農資研、2. 理研植物機能)</p>	<p>◆座長 柳沢貴司(近中四農研)</p> <p>631 コシヒカリの出穂期関連QTLsの準同質遺伝子系統の作出と育種的評価 ○竹内善信1,4・蝦谷武志2,3・佐藤宏之1・太田久稔1・平林秀介1・出田収1・平山正賢1・根本博1・安東郁男1・矢野昌裕3・井辺時雄1(1. 作物研、2. 富山県農技セ、3. 生物研、4. STAFF研)</p> <p>632 気象変動下においても品質が優れ、良食味の水稲早生品種「てんたかく」の育成 ○山口琢也1・姥谷武志1・金田宏2・木谷吉則3・小島洋一朗4・土肥正幸2・石橋岳彦2・向野尚幸1・表野元保1・宝田研1・山本良孝1(1. 富山農技セ、2. 富山農改、3. 砺波農改、4. 生物研)</p>	9:48
			10:00
			10:12
			10:24
			10:36
			10:48
			11:00
			11:12

2日目(3月31日) 午前			
3月31日	第1会場	第2会場	第3会場
	◆座長 西村繁夫(筑波大農林)	◆座長 掛田克行(三重大生物資源)	◆座長 伊藤純一(東大農学生命)
11:24	133 コムギのゲノム科学 XIX, コムギにおける22kオリゴマイクロアレイの作成 ○持田恵一・川浦香奈子1・山崎由紀子2・荻原保成1(1.横浜市大・木原生研、2. 遺伝研)	233 SNPマーカーによるイネいもち病真性抵抗性遺伝子 <i>Piz</i> , <i>Piz-t</i> , <i>Pit</i> , <i>Pik-m</i> の包括的なマッピング ○林敬子・芦川育夫(中央農業総合研究センター)	333 <i>SD1</i> 遺伝子は何故イネ半矮性育種に用いられたのか? ○松岡 信1・坂本知昭2・伊藤博紀1・上口(田中)美弥子1・芦莉基行1・北野英己1(1. 名大、生物機能開発利用研究センター、2. 東大院・農)
11:36	134 コムギのゲノム科学XX, 22kコムギオリゴマイクロアレイを用いた塩処理に応答する遺伝子のグローバルな発現解析 川浦香奈子・持田恵一・根本泰江・平野慎子・荻原保成(横浜市大・木原生研&院総理)	234 バレインシヨにおけるジャガイモXウィルス抵抗性遺伝子に連鎖するPCRマーカーの開発 ○大林憲吾・小村国則(長崎県総合農林試験場)	334 ゴマさく果の裂開帯の形成に関わる遺伝子の探索 千田学・若杉達也・増田恭次郎・○山田恭司(富山大理工生物)
11:48	135 オオムギcDNAマイクロアレイシステムにおけるシグナル強度の統計解析 ○鈴木一1,2・笹沼恒男3・佐藤和広1・武田和義1(1. 岡大資生研,2.CREST,3.横浜市大木原生研)	235 辛い万願寺トウガラシ育成のための辛味遺伝子座連鎖マーカーの開発 ○南山泰宏1・福葉幸司1・氷上涼子2・木下紗矢香2・井上雅好3(1. 京都農食2、2. 京都府大農、3. 京都府大院農)	

2日目(3月31日) 午後			
3月31日	第1会場	第2会場	第3会場
	◆座長 市川裕章(生物研)	◆座長 奥本 裕(京大院農)	◆座長 松岡 信(名大生物機能セ)
13:00	136 2種類の浸水処理により同時に誘導されたイネ遺伝子の発現解析 ○山田仁美1, 大岡久子1,2, 田嶋公久3, Lee, Jung-Sook4, 佐藤浩二1, 菊池 尚志1(1. 農業生物資源研究所, 2. 長岡技術大工3, 栃木県農業試験場, 4. 韓国農村振興庁)	236 メロンにおける果肉色の遺伝子解析 ○八城和敏1・明石由香利2,3・富田健夫1・加藤謙司3(1.茨城生工研、2.(株)三共種子、3.岡山大農)	335 高日持ち性リンゴ品種における完熟関連遺伝子の解析 ○若佐雄也1・今智之2・石川隆二1・赤田辰治3・千田峰生3・新関 稔1・原田竹雄1(1. 弘前大農学生命、2. 青森県りんご試、3. 弘前大遺伝子実験施設)
13:12	137 多収性根粒超着生ダイズにおける <i>NTS1</i> 遺伝子の解析 ○荒井三千代1・林正紀1・高橋幹2・島田信二2・原田久也1(1. 千葉大園芸、2. 農研機構作物研)	237 ダイズシストセンチュウ抵抗性遺伝子型を判別する分子マーカーの開発 ○植木英雄1・寺石政義1・鈴木千賀2・石本政男1(1. 近中四農研、2. 道立十勝農試)	336 リンゴ果実完熟関連 <i>ERF</i> 遺伝子の発現解析 ○高橋彩子1, 若佐雄也1, 石川隆二1, 赤田辰治2, 千田峰生2, 新関 稔1, 原田竹雄1(1. 弘前大農学生命、2. 弘前大遺伝子実験施設)
13:24	138 イネの日長による開花制御の分子機構. I. イネ開花制御遺伝子 <i>Hd3a</i> の発現調節機構 ○玉置 祥二郎1・横井 修司1・矢野 昌裕2・島本 功1(1. 奈良先端大、2. 生物研)	238 ナスSSR濃縮ライブラリの作成 ○布目 司1・河野いづみ2・大山暁男1・福岡浩之1(1. 野菜茶業研究所、2. 農林水産先端技術産業振興センター)	337 イネにおける2つのクラスC遺伝子の <i>whorl</i> 依存的な機能分化 ○山口貴大1・Gynheung An2・宮尾安藝雄3・廣近洋彦3・平野博之1(1. 東大院農学、2. POSTECH、3. 農業生物資源研)
13:36	139 イネの日長による開花制御の分子機構. II. 光中断の効果とその分子機構 ○石川 亮・横井 修司・島本 功(奈良先端大)	239 醸造用オオムギ“はるな二条” BACライブラリーの構築と利用 ○最相大輔1・明楽映里子1,2・川崎信二3・佐藤和広1・武田和義1(1. 岡大資生研、2. CREST、3. 生物研)	338 パンコムギの <i>BELL1</i> 様ホモボックス遺伝子群の単離と <i>KNOX</i> タンパク質との相互作用 ○水本公大1・村井耕二2・中村千春1・宅見薫雄1(1. 神戸大農、2. 福井県大生物資源)
13:48	140 イネの日長による開花制御の分子機構. III. 長日条件下で機能する開花制御遺伝子の解析 ○横井 修司1・Shinyoung Lee2・Gynheung An2・島本 功1(1. 奈良先端大、2. POSTEC 韓国)	240 白神山地のブナにおけるrDNA領域の構造解析とDNAマーカーの開発 ○佐藤美奈子1・千田峰生2・石川隆二1・原田竹雄1・新関稔1・赤田辰治2(1. 弘大農学生命科学部、2. 弘大遺伝子実験施設)	339 <i>pistillody</i> を誘発する細胞置換コムギ系統における <i>BELL1</i> 様ホモボックス遺伝子群の発現解析 ○平林千鶴1・水本公大2・清水智章1・宅見薫雄2・村井耕二1(1. 福井県大生物資源、2. 神戸大農)
14:00	◆座長 金澤 章(北大院農)	241 ナシ果実及び加工品のDNA分析. III. SSR分析による生果実、乾燥果実、缶詰からの品種同定 ○木村鉄也1・小曾納雅則1・林 建樹2・伴 義之1・山本俊哉2(1. 種苗管理センター、2. 農研機構果樹研究所)	◆座長 坂本知昭(東大農)
14:12	142 プロモーター解析用バイナリーベクターの構築とイネへの導入およびその解析 ○東直邦1・中村英光1・梶川真理子1・安藤成子1・小野寺治子1・土岐精一1・田中宥司2・市川裕章1(1. 生物研、2. 中央農研)	◆座長 新関 稔(弘大農学生命)	341 コムギの離すいで特異的に発現する新奇な遺伝子の単離と解析 ○漆川直希・吉井崇行・村井耕二(福井県大生物資源)
14:24	143 イネ遺伝子プロモーターの組織特異的発現に関するトランスジェニック解析 ○中村英光1・東直邦1・梶川真理子1・安藤成子1・阿部弘子1・古賀保徳1・菊池尚志1・佐々木卓治1・田中宥司2・市川裕章1(1. 生物研、2. 中央農研)	243 イネ染色体断片置換系統群を用いた種間連鎖形質のQTL解析 ○安藤露1・清水武彦1・正村純彦1・竹内善信1,2・林少揚1,3・矢野昌裕4(1. STAFF研、2. 現作物研、3. 現 HRI、4. 生物研)	342 コムギにおける <i>AGL2</i> -like <i>MADS</i> ボックス遺伝子ファミリーの発現解析 ○西井健一郎・漆川直希・村井耕二(福井県大生物資源)
14:36	144 新規プロモーターのイネ緑葉における発現部位の解析 ○大槻寛1,2・大島正弘2・川田 元滋1,2,3(1. 農研機構中央農研、2. 農研機構作物ゲノム育種センター、3. 新潟大院自然科学)	244 イネのトランスポゾン <i>mPing</i> による遺伝子タギング ○松井和幸1・堀端章1・奥本裕2・中崎鉄也2・谷坂隆俊2(1. 近大生物理工、2. 京大大学院農学研究所)	343 シロイヌナズナ花関連遺伝子 <i>SOC1/AGL20</i> のコムギにおける相同遺伝子 <i>WSOC1</i> の発現解析 ○村井耕二・三屋忠之(福井県大生物資源)

2日目(3月31日) 午前			
第4会場	第5会場	第6会場	3月31日
<p>◆座長 辻本 壽(鳥取大農)</p> <p>433 葉緑体ゲノムの多様性に基づくサトウキビ属の系統分類 ○高橋咲子1・浅野敬幸1・古川勉1, 2・杉本明3・寺島義文3・島田浩章2・門脇光一1(1. 生物研, 2. 東京理科大, 3. 九州沖縄農研センター)</p> <p>434 日本のダイコンの起源と分化. VIII. 葉緑体における塩基配列多型とミトコンドリアの変異との対応 ○尾崎昭子, 佐々木淳子, 寺地 徹, 山岸 博(京都産大工)</p> <p>435 イラン北部におけるタルホコムギの形態的変異と地理的分布 ○大田正次1・Javad Mozafari2・松岡由浩1・渡邊和男3(1. 福井県大生物資源, 2. イラン国立植物園センター, 3. 筑波大遺伝子実験センター)</p>	<p>◆座長 吉羽洋周(日立中研)</p> <p>533 薬培養によるイネの斑入り突然変異体の作出 ○大谷恭泰・津川竹夫・本多梨紗・島田多喜子(石川県農短大農資研)</p> <p>534 Efficient transformation method of sugarcane mediated by <i>Agrobacterium</i> ○Zhang, S.1, B. Yang1, J. Luo1, K. Ishiki2(1. Chinese Acad. Trop. Agri. Sci., 2. JIRCAS-Okinawa)</p> <p>535 ハクサイ、レタス芽種子へのアグロバクテリウム法による脂肪酸Δ6不飽和化酵素遺伝子の導入 ○朴 炳振1, 櫻谷英治2, 清水昌2, 田中良和3, 菅野明1, 竜谷寿昭1(1. 東北大院生命, 2. 京大院農, 3. サントリー先技研)</p>	<p>◆座長 柳沢貴司(近中四農研)</p> <p>633 低アミロース米水稲新品種「おぼろづき」の育成 ○黒木慎1・安東都男2・清水博之1・荒木均2・三浦清之3・永野邦明4・今野一男5(1. 北海道農研, 2. 作物研, 3. 中央農研北陸セ, 4. 宮城県古川農試, 5. 元北海道農試)</p> <p>634 直播栽培向け低アミロース水稲新品種「はなえまき」の育成 ○清水博之1・安東都男2・黒木慎1・荒木均2・三浦清之3・永野邦明4・西村実5・今野一男6・大内邦夫6(1. 北海道農研, 2. 作物研, 3. 中央農研・北陸セ, 4. 宮城県古川農試, 5. 生物研放牧場, 6. 元 北海道農試)</p> <p>635 極良食味水稲新品種「さきひかり」の育成 堀内久満1, ○富田桂1, 寺田和弘1, 田中勲2, 小林麻子1, 見延敏幸1, 古田秀雄3, 山本明志4, 篠山治恵1, 池田郁美3, 田野井真1, (1. 福井農試 2. 福井農林総合事務所 3. 福井県南振興局 4. 福井県庁)</p>	<p>11:24</p> <p>11:36</p> <p>11:48</p>

2日目(3月31日) 午後			
第4会場	第5会場	第6会場	3月31日
<p>◆座長 土井一行(九大院農)</p> <p>436 日本産タケノコ類の遺伝育種学的研究. XIX. スホウチクの開花のその後の観察 ○村松幹夫</p> <p>437 ウィグル及びアフガニスタンのコムギ在来品種系統の遺伝的多様性に関するAFLP分析 ○笹沼恒男・井元知子・笹野哲夫(横浜市大木原生研)</p> <p>438 福井県の砂丘畑で栽培されるライムギが有するB染色体の頻度と形態 ○岩崎理恵・藤澤薫・大田正次(福井県大生物資源)</p> <p>439 機能領域の多様性に基づく遺伝資源の評価3: PBAマーカーを用いたミャンマー由来のイネ遺伝資源の多様性解析 ○ジャンカーL, コタリ1, 2, 山中慎介1, ティン・チュット3, サンサン・イ4, 池田成志1, 渡邊和男1(1. 筑波大遺伝子, 2. U Rajasthan, Jaypur, India, 3. CARI, Yezin, Myanmar, 4. VFRDC, Myanmar)</p> <p>440 ミャンマー作物在来品種における遺伝的多様性の劇的変化の可能性について ○ 渡邊和男1, ティン・チュット2, サンサン・イ3, チャウ・ウィン3, 山中慎介1, 池田成志1, 渡邊純子1(1. 筑波大遺伝子, 2. CARI, Yezin, Myanmar, 3. VFRDC, Myanmar)</p> <p>441 機能領域の多様性に基づく遺伝資源の評価2. PBAマーカーによるミャンマー由来ショウガ属の遺伝的変異性評価 ○渡邊純子1, サンサン・イ2, メイ・シン・チン2, ツァン・タイク2, チャウ・ワイ・ナイン2, チャウ・ウィン2, 山中慎介1, 渡邊和男1(1. 筑波大遺伝子, 2. VFRDC, Myanmar)</p> <p>◆座長 西村 実(生物研)</p> <p>442 コムギにおける品質関連遺伝子のPCR分析と東・南アジアにおける多様性 ○スーリヤ・カント・ギミレ1・池田達哉2・石川直幸2・明石由香利1・吉野照道1・加藤謙司1(1. 岡山大農, 2. 近中四農研)</p> <p>443 コムギのグルテニン組成とタンパク量の製パン適性に及ぼす影響 ○池口正二郎, 長谷川明彦, 庵英俊, 村井達夫(ホクレン農総研)</p> <p>444 パン用コムギ品種の選抜に利用可能な高分子量グルテニンサブユニットのDNAマーカー ○石川吾郎・齊藤美香・中村和弘・伊藤裕之・中村俊樹(東北農研)</p>	<p>◆座長 田部井 豊(生物研)</p> <p>536 イネのDNAトランスポゾン, <i>nDart</i> ホモログの分布 ○前川雅彦1・桐根一夫2・飯田滋2(1. 岡山大資生研, 2. 基生研)</p> <p>537 サツマイモ遺伝資源のDNA量の変異について ○田原裕作1, 樂雨時2, 3, 中谷誠4, パバック・ベナム1, 山中慎介2, 渡邊和男2(1. 筑波大生命環境, 2. 筑波大遺伝子, 3. 大連理工大学, 4. (独)作物研)</p> <p>538 活性酸素消去系酵素遺伝子を導入したトレニアのストレス耐性 竹本哲行1, 2, ○林 健1, 三村裕1, 森田重人1, 3, 増村威宏1, 3, 田中国介1, 3(1. 京都農資セ, 2. 現 京都農総研, 3. 京都府大)</p> <p>539 <i>Primula cortusoides</i> と <i>P. obconica</i> の交配により形成された非還元性花粉由来の3倍体雑種 ○庄司理恵1・加藤淳太郎1・三位正洋2(1. 愛知教育大生物, 2. 千葉大園芸)</p> <p>540 Androgenic embryogenesis and green plant regeneration in <i>Festuca pratensis</i> Huds. and <i>Dactylis glomerata</i> L. ○Yangdong Guo・Toshihiko Yamada (Natl. Agri. Res. Cent. Hokkaido)</p> <p>◆座長 遠藤 昇(大成建設)</p> <p>541 トレニア・フルニエリとトレニア・フラバを用いた有用キメラの形成 ○仙波佐智子1・平田豊2・赤松豊和(1. 農工大農学部, 2. 農大院国際環境, 3. サカタのタネ)</p> <p>542 イネの相同組換えによるゲノム変異: <i>Adh1</i> と <i>Adh2</i> の遺伝子破壊 ○寺田理枝, 齊藤美保, 定塚(久富) 恵世, 飯田滋(基生研)</p> <p>543 Progeny analysis of transgenic rice <i>Rojolele</i> expressing recombinant human lactoferrin. ○ Rachmawati, D.1, 2, T. Hosaka1, F. Takaiwa3, E. Inoue1 and H. Anzai1(1. Gene Res. Ctr., Ibaraki U., 2. Fac. Biol. Gadjah Mada Univ, Indonesia, 3. Natl. Inst. Agrobiol. Sci.)</p> <p>544 ラクトフェリン由来抗菌性ペプチドのイネにおける遺伝子発現とその機能解析 ○船越拓・保坂正彦・井上栄一・安西弘行(茨城大・遺伝子実験施設)</p>	<p>◆座長 加藤清明(帯広畜大)</p> <p>636 穂発芽性極難秋播小麦系統の育成 1. 穂発芽性極難小麦の選抜法及び育成 ○柳沢 朗1・西村 努1・天野洋一2・厩田淳史3・新発田修治3(1. 道立北見農試, 2. 道立中央農試, 3. 北海道グリーンバイオ研)</p> <p>637 穂発芽性極難秋播小麦系統の育成 2. 穂発芽性極難系統の特性 ○西村 努1・柳沢 朗1・天野洋一2・厩田淳史3・新発田修治3(1. 道立北見農試, 2. 道立中央農試, 3. 北海道グリーンバイオ研)</p> <p>638 そば難脱粒性素材の開発とその特性 ○鈴木達郎1・本田裕1・六笠裕治1(1. 北農研)</p> <p>639 ソマクローナル変異を利用したイネの新系統の育成 ○慮忠恩1・千田峰生2・石川隆二1・赤田辰治2・原田竹雄1・新開稔1(1. 弘大農学生命2. 弘大遺伝子実験施設)</p> <p>640 リポキシゲナーゼ全欠失大豆新品種すずさやかの育成 ○河野雄飛, 高田吉丈, 湯本節三(東北農研)</p> <p>641 日中共同研究による大豆新品種の育成 ○岡部昭典1・故足立大山2・楊光宇3・王洋3・劉凱3・廖林3・王耀明3・富健3・孫大敏3・閻院懿3(1. 近中四農研, 2. 国際農研, 3. 吉林省農科院大豆研)</p> <p>◆座長 新発田修治(北海道グリーンバイオ)</p> <p>642 そうか病抵抗性とジャガイモシストセンチュウ抵抗性を併せ持つばれいしょ新品種「北育7号」の育成 ○池谷聡1・藤田涼平1・大波正寿2・千田圭一3・関口建二4・松永浩2・村上紀夫4・伊藤武1・入谷正樹1(1. 道立北見農試, 2. 道立十勝農試, 3. 道立植遺資センター, 4. 道立中央農試)</p> <p>643 ナス台木の新品種「羽曳野育成1号」 ○岩本嗣1・辻博美1・中曽根渡1・長町知美2(1. 大阪食とみどり技セ, 2. 泉州普及セ)</p> <p>644 後代のDNAマーカー選抜が可能なクワシロカイグラムシ抵抗性チャ育種素材の開発と利用 ○田中淳一・谷口郁也・吉田克志・荻野暁子・武田善行(野菜茶業研究所)</p>	<p>13:00</p> <p>13:12</p> <p>13:24</p> <p>13:36</p> <p>13:48</p> <p>14:00</p> <p>14:12</p> <p>14:24</p> <p>14:36</p>

2日目(3月31日) 午後			
3月31日	第1会場	第2会場	第3会場
	◆座長 金澤 章(北大院農)	◆座長 新岡 稔(弘大農学生命)	◆座長 坂本知昭(東大農)
14:48	145 ウイルスベクターpCIYVWを用いたUV-B応答性転写因子GmMYB29B1の機能解析 ○大久保 裕美1、北嶋 洋志1、千田 峰生2、石川 隆二1、原田 竹雄1、新岡 稔1、赤田 辰治2(1. 弘大農学生命科学部、2. 弘大遺伝子実験施設)	245 イネの植物体で観察された <i>Rum1</i> 座以外のゲノムサイトにおけるトランスポゾン <i>mPing</i> の転移 ○大森良弘1・松井和幸1・堀端章1・奥本裕2・中崎鉄也2・谷坂隆俊2(1. 近大生物理工 2. 京大大学院農学研究所)	344 コムギ春播性遺伝子 <i>Vm</i> 候補遺伝子WAP1の3つの同祖遺伝子cDNAの単離と発現解析 ○五十里千尋1・宅見薫雄2・荻原保成3・村井耕二1(1. 福井県大生物資源、2. 神戸大農、3. 横浜市大木原生研)
15:00	◆座長 石川隆二(弘前大農学生命科学)	246 イネのトランスポゾン <i>mPing</i> の端部領域におけるシトシンの不完全なメチル化 ○堀端章1・大森良弘1・奥本裕2・中崎鉄也2・谷坂隆俊2(1. 近大生物理工 2. 京大大学院農学研究所)	◆座長 高畑義人(岩手大農)
15:12	146 適応進化を示す新規コムギシラナーゼインヒビター遺伝子の単離及び発現解析 ○井川智子・福田徹子・木村真・山口勇(理研 P.S.C.)	247 イネ属CCゲノム種における種間交雑 ○Paul L. Sanchez・Nonnatus S. Bautista・加賀秋人・Jonson-Miranda Gilda・加賀秋人・伊勢村武久・友岡憲彦・Duncan A. Vaughan(生物研)	345 トウモロコシの花粉飛散特性とキセニアを用いて推定した交雑率の年変動 ○松尾和人、芝池博幸、吉村泰幸、川島茂人、岡 三徳(農環研)
15:24	147 ベチュニアにおけるコサプレッションを誘導する <i>CHS</i> 遺伝子と共にゲノムに導入された薬物耐性遺伝子のサイレンシング機構 ○小関麻衣子・後藤一法・増田税・金澤章(北大院農)	◆座長 福岡浩之(野菜茶業研)	346 トウモロコシ花粉の長距離飛散と交雑に関する研究(第2報) 天野克紀1・松尾和人2・川島茂人2・三澤孝1・伴義之1・岡三徳2(1. 種苗管理セ、2. 農環研)
15:36	148 植物でのウイルス感染を介したエピジェネティックな遺伝子発現制御 ○高橋 亜紀子1、洪 鎮成2、後藤 一法1、増田 税1、金澤 章1(1. 北大院農、2. 産総研)	248 シュードテストクロス法によるダイコン連鎖地図の作成 ○津呂正人1・久保中央1,2・諏訪部圭太3・平井正志1,2(1. 京都農産セ、2. 京都府大院農、3. 野菜茶業研究所)	347 アブラナ科野菜F1採種における応用生態学的研究III: 開花フェノロジーと訪花頻度がF1純度に及ぼす影響 石塚大悟1・堀崎敦史2・新倉聡2・小沼明弘3(1. 新潟大農、2. 關トホク、3. 農環研)
15:48	149 ベレニアルライグラス(<i>Lolium perenne</i> L.)から単離されたフルクタン合成に関与する遺伝子の <i>Phichia pastoris</i> 発現系を用いた機能解析 ○久野 裕1・金澤 章1・吉田 みどり2・喜多村 啓介1・山田 敏彦2(1. 北大院農、2. 北海道農研)	249 トウモロコシとテオシントの交雑F2由来のSSR-AFLP連鎖地図の作成とトウモロコシ連鎖地図との比較 ○間野吉郎1・村木正則2・藤森雅博1・高満正1・佐藤 広子1(1. 畜草研、2. 九州沖縄農研)	348 DNAマーカーによるハイブリッドイネ種子純度の効率的な管理 ○小森俊之・新田直人(JT植物イノベーションセンター、オリノバ)
16:00	150 イネ未熟胚乳中で微量に発現しているタンパク質・酵素のプロテオーム解析 ○星野美樹1・小松節子2・阿部利徳1(1. 山形大農、2. 農業生物資源研究所)	250 <i>Oryza glumaepatula</i> 染色体断片導入イネのSSRマーカーによる遺伝子型決定 ○永山 宇・土井一行・安井 秀・吉村 淳(九大院農)	349 オオムギ未熟胚由来カルスからの植物体再分化に及ぼすフィコロムの影響 ○カ石和英・前川雅彦(岡大資生研)
16:12	251 IRGSPによって完成された日本晴イネ全染色体の物理地図について ○呉健忠、片桐敏、佐治章子、桐根美佳、吉原里枝、唐澤沙、小林春美、伊藤和江、松本隆、佐々木卓治(STAFF研/農業生物資源研・イネゲノム研究チーム)	◆座長 カ石和英(岡大資生研)	350 オオムギの培養系・形質転換系改良および有用遺伝子(PEPC等)の導入 ○萩尾高志・蒲池伸一郎・安藤杉尋・小川泰一・土生芳樹・田部井豊(生物研)
16:24	252 イネゲノム塩基配列解析(第1,2,6,7,8,9染色体)の進捗状況 ○根岸真奈美、藤沢雅樹、金森裕之、山形晴美、神谷梢、中村まり、濱田昌雄、伊藤幸恵、宮内友子、林亜貴子、目黒文乃、小林春美、水林達美、中間裕子、小野望、伊藤和江、栗田加奈子、阪口未雪、菊田有里、町田佳代、造久美子、備藤毅人、藤塚奈穂子、山根弘子、宋健瑜、酒井久美子、長田夕子、片寄裕一、並木信和、松本隆、佐々木卓治(生物研/STAFF・イネゲノム研究チーム)	351 エソリンドウ(<i>Gentiana triflora</i>)の薬培養由来個体の遺伝的均一性 ○土井寿子1・高橋亮2・渡辺正夫1・高畑義人1(1. 岩手大農、2. 安代町花き開発センター)	
16:36	253 イネ第8染色体のアノテーション進捗状況 ○伊藤幸代・柴田未知恵・山本麻裕・桐根美佳・伊藤裕一・向井喜之・並木信和・松本隆・佐々木卓治(生物研/STAFF・イネゲノム研究チーム)	352 分けつタマネギの培養条件が及ぼす小球形成への影響 ○陳典1・徐啓江1・平田豊2(中国東北農大園芸2、農工大院農)	353 西洋ナタネ(<i>Brassica napus</i> L.)本葉からの不定芽誘導における品種間差異 ○ケネディ(赤坂)庸子1・渡辺正夫2・高畑義人2(1. コンボン研究所、2. 岩手大農)

	1号館地下4番教室	1号館地下5番教室	1号館1階6番教室
17:00 ↓ 19:00	グループ研究会Ⅰ 生物進化・細胞遺伝談話会 世話人: 木庭卓人(千葉大園芸) 森 直樹(神戸大農) 話題提供 武田 真(香川大農) 「ムギ類育種の新素材としてのオオムギ属」	グループ研究会Ⅱ 受粉生物学の育種への展開5 世話人: 大澤 良(筑波大農林学系) 話題提供 福岡浩之(野菜茶研) 「野菜の品種識別法開発の試み: 野菜茶研における事例」	グループ研究会Ⅲ 遺伝資源海外学術調査の現状と課題 世話人: 佐藤雅志(東北大生命科学) 大田正次(福井県立大) 加藤謙司(岡山大農) 話題提供 長峰 司(生物研) 「植物遺伝資源の国境間移動をめぐる最近の状況」

2日目(3月31日) 午後			
第4会場	第5会場	第6会場	3月31日
<p>◆座長 西村 実(生物研)</p> <p>445 バンコムギにおけるグリアジンと密に連鎖した低分子量グルテニンサブユニットは生地強度に影響する ○田中裕之・清水理江・辻本壽(鳥取大農)</p> <p>446 バン用秋まき小麦の穀粒硬度、マイクロSDS沈降量およびタンパク質含量による選抜効果 ○西尾善太1・高田兼則1,2・伊藤美環子1・船附雅子1・入来規雄1・田引正1(1.北海道農研、2.近中四農研)</p> <p>◆座長 池口正二郎(ホクレン)</p> <p>447 オオムギ硬軟質性と胚乳細胞壁多糖含量との関係 ○塔野岡卓司1・吉岡藤治1・河田尚之1,2(1.農研機構作物研、2.九州沖縄農研)</p> <p>448 低グルテリン・26 kDaグロブリン欠失の水稲新品種の育成 ○西村実1・草場信1・宮原研三1・西尾剛2・飯田修一3・井辺時雄4・佐藤宏之4(1.農業生物資源研、2.東北大学、3.近中四農研、4.作物研)</p> <p>449 日本の陸稲におけるアルカリ崩壊度の品種間差異について ○岡本和之・石井卓朗・眞部徹・岡野克記・平澤秀雄(茨城農総セ 生物工学研究所)</p> <p>450 「さわびかり」発芽玄米の食味と健康増進効果について ○大澤実1・小野善平2・後藤清乃2・小此木久美子3(1.群馬県農業技術センター、2.群馬県立心臓血管センター、3.群馬県館林保健福祉事務所)</p> <p>451 サツマイモ近縁野生種葉身のラジカル消去活性 ○高畑康浩、中山博貴、田中勝(九州沖縄農研)</p> <p>452 サツマイモ蒸切干の中白発生についての遺伝的背景 ○藏之内利和1・田宮誠司2・片山健二3・小巻克己1・中谷誠1(1.農研機構作物研、2.農水省技会事務局、3.農研機構九州沖縄農研セ)</p>	<p>◆座長 遠藤 昇(大成建設)</p> <p>545 組換えイネにおけるヒトラクトフェリンの発現に対する局在性配列の影響 ○保坂壮彦1・森拓也1・樺沢満美子1・高岩文雄2・井上栄一1・安西弘行1(1.茨城大遺伝子、2.生物研)</p> <p>◆座長 吉田薫(東大農学生命科学)</p> <p>546 アグロバクテリウムを培養極初期のイネ種子に感染させる形質転換法の開発 ○土岐精一1・小野和子1・小野寺治子1・田切明美1・原奈穂1・岡成美1・田中宥司2(1.生物研、2.北陸農研)</p> <p>547 生分解性プラスチック(PHB)合成遺伝子を導入した稲わら繊維の改良 2)稲わら粉圧縮ボードを用いた特性変化の検討 ○秋吉美穂、吉田光毅、万字角英、遠藤昇(大成建設技術センター)</p> <p>548 イネグルタミン合成酵素(GS2)遺伝子を導入した形質転換コシノ特性 ○森 真理1、北村治滋1、宮村弘明1,2、荒木良一3、森 正之4、長谷川博3、竹葉剛5(1.滋賀県農総セ、2.現湖西地域振興局、3.滋賀県立大環境科学、4.石川県農業短大農資研、5.京都府大人間環境)</p> <p>549 ヒルジン遺伝子を葉緑体ゲノムに持つ形質転換タバコの作出 ○郭長虹・大迫敬義・尾崎昭子・黒坂光・山岸博・寺地徹(京産大工)</p> <p>◆座長 土岐精一(生物研)</p> <p>550 フィテン低含有種子作出に適したプロモーターの探索 ○桑野美緒1・高岩文雄2・吉田薫1(1.東大・農学生命科学、2.生物研・新生物資源創出)</p> <p>551 ダイズモザイクウイルスの外被タンパク質遺伝子を導入した形質転換ダイズ後代(T3及びT4)の抵抗性について ○静川幸明1、古谷規行1,2、小坂能尚1、日高操3(1.京都農資セ、2.現京都府農林水産部、3.東北農研)</p> <p>552 遺伝子改変により生理活性ペプチドを導入した高機能化β-コングリニンを蓄積したダイズの開発 ○寺石政義1・喜多洋一2・北山雅彦2・内海成3・吉川正明3・石本政男1(1.近中四農研、2.愛媛女子短大、3.京大農研)</p> <p>553 High level of tolerance to salt stress in the transgenic tetrasomic tetraploid potatoes. Celebi-Toprak, F.1,2, Behnam, B.3, Serrano, G.4, Naka, H.5,6, Kasuga, M.7, Yamaguchi-Shinozaki, K.7, Watanabe, J. A.1,5 and Watanabe, K. N.1,5(1 Gene Res. Ctr., U. Tsukuba, 2 Pamukkale U, Turkey, 3 Grad. Prog. Life and Env. Sci., U Tsukuba, 4 Grad. Prog. Biosystem, U. Tsukuba, 5. Dept. Biotech. Sci., Kinki U., 6 Naka Electric Sppl., 7 JIRCAS)</p> <p>554 難消化性物質リグニン生合成の抑制による飼料イネ消化性の向上 久保賢太郎・川合伸也(農工大農研)</p>	<p>◆座長 新発田修治(北海道グリーンバイオ)</p> <p>645 北海道のイネ品種におけるHd1 遺伝子変異 ○藤野賢治・関口博史(北海道グリーンバイオ研究所)</p> <p>646 稲の世代促進における穂もち圃場抵抗性選抜技術 ○田村泰章、佐藤光徳、谷尾昌彦、伊敷弘俊、松岡誠(国際農研沖縄支所)</p> <p>647 Developing Yellow Corn Germplasm with Adequate Level of Resistance to Bacterial Stalk Rot(<i>Pectobacterium chrysanthemi</i>) and Fungal Ear Rot(<i>Stenocarpella macrospora</i>) ○Laude, T., A.O. Canama, P.S. Guzman and C.P. Pascual (UPLB)</p> <p>◆座長 藤野賢治(北海道グリーンバイオ)</p> <p>648 CAPSおよびRAPDマーカーを用いたイチゴ育成系統の識別 ○山本有子、橋爪不二夫(三重科技セ農研部)</p> <p>649 ダイズ実中イソフラボンの遺伝と品種改良について ○境 哲文1・高田吉丈2・島田尚典3・菊池彰夫4(1.九州沖縄農研、2.東北農研、3.道立十勝農試、4.近中四農研)</p> <p>650 SSRマーカーを用いたネギの品種分類 ○塚崎光・山下謙一郎・小島昭夫(農研機構野菜茶研)</p> <p>651 <i>In vitro</i> cross breeding of peanut (<i>Arachis hypogaea</i>)—Efficient flower induction from peanut seedling <i>in vitro</i> ○Pakinee Asawaphan1・Wikanda Winyasuk2・和田修1・Yongsak Kachonpadungkitti2・久島繁3(1.筑波大学バイオシステム研究科、2.タマサート大学バイオテクノロジー学部、3.筑波大学応用生物化学系)</p> <p>652 成功確率による生産力検定試験方式の最適化: 遺伝子型×場所交互作用が大きい場合の最適方式について ○石井卓朗1・米澤清衛2(1.茨城生工研、2.京都産大工)</p>	<p>14:48</p> <p>15:00</p> <p>15:12</p> <p>15:24</p> <p>15:36</p> <p>15:48</p> <p>16:00</p> <p>16:12</p> <p>16:24</p> <p>16:36</p>
<p>1号館1階7番教室</p> <p>グループ研究会IV</p> <p>育種学と農学のこれからを考えるXI 世話人: 宇賀優作(生物研) 岩田洋佳(中央農研)</p> <p>話題提供 山根京子(京大農) 「遺伝資源の系統解析—コムギ・ソバ近縁野生種の分子進化—」</p>	<p>1号館2階10番教室</p> <p>グループ研究会V</p> <p>新しい「農の世界」を探るII.その11. 世話人: 高木俊江(東大農学生命)</p> <p>話題提供 高橋良蔵(秋田県雄勝郡羽後野) 「昭和、平成を生きた村の中から」</p>	<p>17:00 ↓ 19:00</p>	

講演番号・座長一覧

	第1会場 弥生講堂	第2会場 1号館8番	第3会場 2号館化1番	第4会場 2号館化3番	第5会場 1号館4番	第6会場 1号館5番
30日午前	101-105 中村千春 (9:00-10:00)	201-205 犬飼義明 (9:00-10:00)	301-305 奥野員敏 (9:00-10:00)	401-405 山岸 博 (9:00-10:00)	501-505 佐藤雅志 (9:00-10:00)	601-605 高野哲夫 (9:00-10:00)
	106-110 野田和彦 (10:00-11:00)	206-210 平野博之 (10:00-11:00)	306-310 江面 浩 (10:00-11:00)	406-410 荒木悦子 (10:00-11:00)	506-510 安井 秀 (10:00-11:00)	606-610 平野 久 (10:00-11:00)
	111-115 門脇光一 (11:00-12:00)	211-215 山元皓二 (11:00-12:00)	311-315 栗原志保 (11:00-12:00)	411-415 笹沼恒男 (11:00-12:00)	511-515 佐藤和広 (11:00-12:00)	611-616 藤村達人 (11:00-12:12)
	116-120 寺地 徹 (12:00-13:00)	216-220 糸田淳史 (12:00-13:00)	316-320 丸橋 亘 (12:00-13:00)	416-420 大田正次 (12:00-13:00)	516-520 鈴木保宏 (12:00-13:00)	617-620 笹隈哲夫 (12:12-13:00)
31日午前	121-125 赤田辰治 (9:00-10:00)	221-223 久保山 勉 (9:00-9:36)	321-325 加藤鎌司 (9:00-10:00)	421-425 中村郁郎 (9:00-10:00)	521-525 大谷基泰 (9:00-10:00)	621-626 山田恭司 (9:00-10:12)
	126-130 佐々英徳 (10:00-11:00)	224-229 芦川育夫 (9:36-10:48)	326-330 北野英己 (10:00-11:00)	426-430 渡邊和男 (10:00-11:00)	526-530 小島昭夫 (10:00-11:00)	627-630 安東郁男 (10:12-11:00)
	131-135 西村繁夫 (11:00-12:00)	230-235 掛田克行 (10:48-12:00)	331-334 伊藤純一 (11:00-11:48)	431-435 辻本 壽 (11:00-12:00)	531-535 吉羽洋周 (11:00-12:00)	631-635 柳沢貴司 (11:00-12:00)
31日午後	136-140 市川裕章 (13:00-14:00)	236-241 奥本 裕 (13:00-14:12)	335-339 松岡 信 (13:00-14:00)	436-441 土井一行 (13:00-14:12)	536-540 田部井 豊 (13:00-14:00)	636-641 加藤清明 (13:00-14:12)
	141-145 金澤 章 (14:00-15:00)	242-247 新関 稔 (14:12-15:24)	340-344 坂本知昭 (14:00-15:00)	442-446 西村 実 (14:12-15:12)	541-545 遠藤 昇 (14:00-15:00)	642-647 新発田修治 (14:12-15:24)
	146-150 石川隆二 (15:00-16:00)	248-253 福岡浩之 (15:24-16:36)	345-349 高畑義人 (15:00-16:00)	447-452 池口正二郎 (15:12-16:24)	546-549 吉田 薫 (15:00-15:48)	648-652 藤野賢治 (15:24-16:24)
			350-353 力石和英 (16:00-16:48)		550-554 土岐精一 (15:48-16:48)	